



市内小学校へ図書購入費贈呈



本市出身の寺田信義さん（九州農林開発（株）代表取締役会長・鹿児島市）が市内の小学校へ児童用図書の購入費を寄付し、7月31日、川畑小学校で目録の贈呈式が行われました。

児童代表のお礼の言葉で、6年生の加藤珠^みさんは「図書室にさらに素敵な本が増えることがとてもうれしい。本をたくさん読んで知識を増やし、心を豊かにして明るい未来を作っていきたい」と感謝の気持ちを述べました。

海外で活躍の先輩からメッセージ



7月31日、ドイツ・ブンデスリーガ1部ヴェルダー・ブレーメンで活躍する大迫勇也選手から母校の万世小学校児童へビデオメッセージが送られました。1学期の終業式に合わせ収録されたもので、大迫選手は例年と違った1学期を過ごした児童をねぎらうとともに、自身の今後の活躍を誓い、児童たちは突然の激励に喜んでいました。同選手からは、同校へサッカーボールとサイン入りユニフォームも寄贈されました。

6年ぶりに海上で遠泳大会開催



7月12日、第37回東シナ海遠泳大会が開催され、大浦小学校4～6年生と大笠中学校1～3年生の計20人が、大浦干拓双子島水門から越路浜までの遠泳2^{キロ}に挑戦し、保護者・教員などの声援・伴泳を受けながら全員が完泳しました。同大会は過去6年、台風や悪天候により連続して海上での実施を中止していました。今回も前日まで大雨警報が出ており、実施が危ぶまれていましたが、当日は天候に恵まれました。

大きくなって帰ってきてね



7月27日、小湊漁港で小湊小学校の児童26人が、（公財）かごしま豊かな海づくり協会（垂水市）から提供された7.5^{キロ}ほどのマダイの稚魚8,500匹を放流しました。鹿児島県砂利協同組合連合会（鹿児島市）が主催したもので、児童たちは海や魚の様子を観察するなど、楽しそうに稚魚を放流しました。4年生の江籠さくらさんは「放流するときは、魚が出やすいよう、バケツの口を下に向けて流す工夫をした」と話しました。